



# 城北民児協だより

2024(令和6)年  
11月号  
城北学区民生委員  
児童委員協議会

城北民生委員児童委員協議会 活動スローガン

## 目指そう 築こう 幸福学区の城北

私たち城北民生委員児童委員協議会は、『目指そう 築こう 幸福学区の城北』を活動スローガンとして、「見まもる」「寄り添う」「つなげる」ことを大切にし、地域にお住いの方々が支え合い、誰もが安心して生活できる街になるよう取り組んでまいります。どうぞ私たちに気軽にお声掛けください。

民生委員 児童委員	関 弘一	グリーンハイツ、三の丸、メゾン佐和山 鴨の巣アペニュー松原、かんどりニューハイツ	私たち民生委員は、皆様が笑顔で暮らせるようにお手伝いしますのでぜひ声をかけてください。
	若林 滋子	松原二丁目、松原町四ツ川 ブラージュカンサイ	皆さまにとって相談しやすい民生委員となるよう笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。
	北川 健太郎	松原一丁目、松原ニュータウン ラフェスタI、ラフェスタII	暮らしを守り、困ったときの行政へのつなぎ役です。
	吉川 恭滋	佐和山東、千原、石持	話し相手になるかわかりませんが、何でも言ってください。できる限り力になります。
	本田 充	グリーンステージII、古沢町東山 佐和山西町	高齢者の訪問では、悩みや困りごとより生活の工夫や人との絆などを聴き、学ぶことの方が多いです。
	久保田 浩二	グリーンハイツII、大洞自治会	困りごとがあればいつでも声掛け待っています。明るい未来に向け一緒に答えを考えましょう。
	深尾 泰造	馬場一丁目、馬場二丁目 ギャラリーコート彦根	たくさんの方々とお出逢いし、私自身多くの笑顔と元気をいただいています。ありがとうございます。
主任 児童委員	飛 奈 久美子	城北小学校より東側	子どもは、家庭の宝・地域の宝。健やかにそして逞しく成長することを願っています。
	望 月 由美	城北小学校より西側	大切な子ども達をご家庭とともに見守り、応援しています。どうぞよろしくお願い致します。



# 支え合う 住みよい街に

## 私たちの取り組み

コロナ禍前の日常生活が戻り、前任の方から受け継いできた民生委員児童委員としての活動も、試行錯誤しながらもう一度見つめなおし今日まで取り組んできました。

『支え合う 住みよい街に』するために、ともすれば社会的に弱い立場に追いやられる高齢者の方や子どもたちのお家や施設・関係機関を訪れる「訪問活動」、特にお困りごとや心配ごとがある方のお話をうかがい解決の道と一緒に探す「相談活動」、地域社会が持つべき力を高め福祉の心を育てる「福祉推進活動」に取り組んでまいりました。

これからもそんな活動を通して、私たちは「見まもる」こと、「寄り添う」こと、そして「つなげる」ことに努めます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 見まもる～訪問活動～

お一人暮らしの高齢者の方や高齢世帯のお宅を「お変わりございませんか？」と訪問しています。時には、市や地域の社会福祉協議会のご支援をいただき、防災グッズや寒さを和らげる「使い捨てカイロ」など生活に役立つグッズを届けたりもしました。昨年の暮れには多くの高齢者の方も心待ちにされていた西中学校の生徒さんと一緒に、生徒さん手作りのクリスマスカードや New Year カードをお渡しに行ったりと、地域のつながりを広めています。また、一歳のお誕生日のいらっしゃるお家を訪問しお子様の健やかな成長をともに願ったり、今春には城北小学校に入学された皆さんへ「入学おめでとう！」と訪問したり、城北小学校・西中学校の「朝のあいさつ運動」に参加したりと、「地域社会全体で、そしてみんなで見守ろう」と、日々活動に取り組んでいます。



西中生の介護施設、お一人暮らしお年寄りクリスマスカード、ニューイヤーカード大作戦



城北小学校新入生お祝い訪問



夏の特別訪問（防災グッズお届け）

## 寄り添う～相談活動～

年齢を重ねることによって生じる心配ごとや、子育ての不安、困ったことに対して、私たちは、同じ目線に立ってお話をお伺いし、安心して生活できる道を、一緒に考えていきたいと思っています。毎日の暮らしのちょっとした日常なお困りごとや、在宅福祉や介護のこと、そして生活費に対する心配ごとなど、昨年も50件余りの相談を受け、解決の道を探しました。もちろん、私たちだけでは解決するには難しいものについては、関係機関につないだり、福祉サービスを適切に利用できるように情報提供等も行いました。私たちには守秘義務がありその秘密はしっかり守ります。少しでもご不安やお困りごとがあれば安心してご相談ください。



## つなげる～地域福祉の推進活動～

地域のつながりを高めるため、自治会とも協力連携しながら見守り会議や見守り活動を推進したり、万が一の災害時に備えて支援が必要な方の共有や確認も行っています。また子どもたちの心を豊かに育む場として、「キャスルママ・パパのつどい」を開催しています。お家の方の、子育ての悩みや気づきを発見できればと外馬場公園の「ひこにゃんプール」での「水遊び・なつ遊び」や「ソフトクリーム作り体験」で交流しました。「青少年育成協議会」そして「地域社会福祉協議会」の委員でもある私たちは、「城北夏まつり」でスタッフとしておにぎりを販売したり、西中学校の「みんなでラジオ体操を楽しもう」に参加したり、城北小学校での「天体観望会」や「竹で遊ぼう」などのお手伝いをしたりと、子どもたちとともに活動することを通して、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を目指しています。



キャスルママ・パパのつどい（水遊び&なつ遊び）

キャスルママ・パパのつどい（ソフトクリーム作り体験）



西中学校 みんなでラジオ体操を楽しもう



馬場一丁目見守り活動「バカンス」

## 共同募金にご協力ください

今年も10月1日から「じぶんの町をよくするしくみ」をテーマに、全国一斉に共同募金運動が展開されています。共同募金は社会福祉法で「地域福祉の推進を目的とする」ことが位置づけられており、皆さんの助け合いの気持ちに支えられている歴史ある運動です。その原点は、第二次世界大戦前の私たち民生委員児童委員の前身である「方面委員」が中心となって全国に広がっていった募金運動です。

彦根市においても、「彦根の町をよくするしくみ」として、共同募金は「計画募金～地域ごとの課題解決に必要な使い途や集める額を事前に定めてから寄付を募る」「地域福祉のための募金～集まった募金はすべて、みんなのまちをよくするための活動に使う」としてとらえ、昨年度は赤い羽根共同募金そして歳末たすけあい募金で市全体として1,350万円近くのあたたかい気持ちが集まりました。県下の広域助成金として福祉施設や福祉事業へ助成されたり、災害が発生した際の必要な資金の積み立てとして活用されたり、彦根市内の身近な福祉活動（見守り・助け合い・支え合いの地域づくり、多世代交流の居場所づくり、福祉の学びや体験を深めるなど）にも活かされてきました。たくさんの方々の小さな優しさが、大きな優しさとなり、多くの人々に笑顔をふりまく結果となりました。

今年度も地域をあげて、共同募金活動が進められています。皆さんの小さな優しさで、見知らぬ人の笑顔を呼び戻し、そして自分自身もちょっぴり幸せな気分になれるなんて、とてもステキなことだと思います。皆さんの温かいご協力をよろしくお願いたします。



## 今年の夏、ステキな出逢いがありました

今年も「観測史上最も暑い夏」だった8月。流れる汗を拭き拭き「暑いですねえ～お変わりございませんか？」とお訪ねした高齢者のお宅で、とてもステキな出逢いをいただきました。何軒かのお家の軒先に、可愛く咲くアサガオを見つけたのです。

「綺麗に咲きましたネ」とお話しすると、「今年の暮れに、中学生さんからいただいたカードに添えてあったアサガオの種が、こんなに可愛い花をつけてくれました」と笑顔でこたえていただきました。中には「花の種なんか蒔いたこともないのに…」と照れ笑いでお話ししていただいた男性の方もいらっしゃいました。

地域の高齢者の方のことを想って、心を込めて手作りしてくださったクリスマスカードやNew Yearカードといっしょに、少しでも和やかにお過ごしくださればとアサガオの種をそえてくださった、彦根市立西中学校の生徒の皆さん。そんな気持ちがうれしくてカードを大切に残してくださり、生徒の皆さんの気持ちにこたえようと、

アサガオを育ててくださった高齢者の方。暮れに生徒さんと一緒に訪問させていただいた時はもちろんのこと、長い時間を超えてもなお、中学生の皆さんと高齢者の方々の気持ちがひとつになって、地域のつながりが大きく育っていったように思いました。そんな「場」と「時間」を私たちも共有できたことで、夏の暑さもどこへやら、とても爽やかでそして幸せな気持ちでいっぱいになりました。

